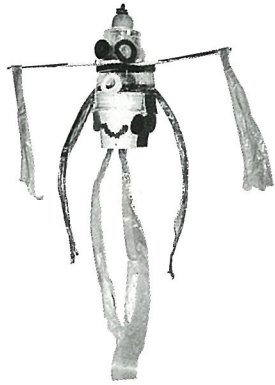




4年
布施 伸くん

※ほくの友だち「タコチュウウ星人」です。タコをイメー
ジして作りま
した。



『友だちみたいな宇宙人』

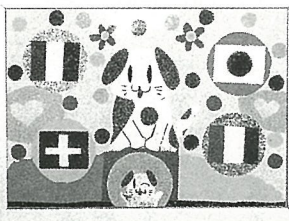


『しばすべり』



1年
野村 晃太くん

※ゆめぼくじよ
うで、しばす
べりをしたよ。
とても、たの
しかったよ。



『わんこの世界旅』



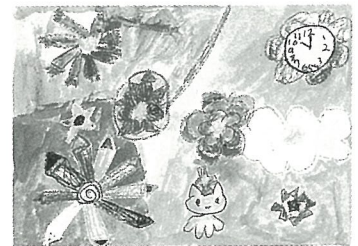
5年
土屋恵利香さん

※私は、犬と世
界を旅したい
と思って作り
ました。砂を
まぜることを
工夫しました。



2年
加瀬 真弓さん

※時計や鉛筆、
にんじんのお
花をかきまし
た。形や色を
工夫しました。



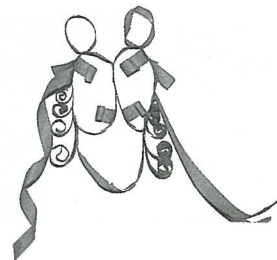
『こんな花があつたら』



6年
鈴木 恵介くん

※この作品を書
く時に気をつ
けたのは、上
下のバランス
や文字の形で
す。

の世界旅



『ひものへんしん』



3年
鈴木亜須加さん

※紙テープをく
るくるまいて、
かみの毛を作
ったところを
がんばりまし
た。

ひかり俳壇



越川せつ子（篠本）
家路急ぐ雨の夕べを鳴く蛙

雨の夕べを家路に急ぐ作者、一斉
に鳴く蛙の音は声援を送っている
かのように聞える

土屋 義昭（虫生）
地下鉄の階段昇り若葉風

地下鉄という限られた視野から抜
け出た目に、風にそよぐ若葉が初
夏に息付いて居た

大谷 武彦（木戸）
夏来る潮の香電車に漂わせ

多分銚子電鉄であろう。夏の海洋
の匂いを漂わせて電車は走り去る

伊藤 定男（尾垂）
岸辺まで届くさゝ波夏に入る

大木 静水（篠本）
夏来る堰より落つる水の音

越川 義則（二又）
まぶしさわ胸の谷間に夏来る

著名な俳人、西東三鬼の、おそる
べき君等の乳房夏来る、を参考ま
でに

短評
椎名しげる
評者吟 抜きん出て一段と映ゆ樟若葉